

# CamiApp S

## Voice Vol.1

2015.6

KOKUYO

## より早く、より楽に、 より伝わりやすく。

お客様やチームメンバーとの  
コミュニケーションを“改善”する

事務改善アドバイザーとして日々多くのお客様と接している高倉さん。  
対面の打合せでは必ずCamiApp Sを持参しているとのこと。  
改善のプロがどうしてCamiApp Sを選んだのか。  
その理由をうかがいました。



CamiApp S  
メモパッドタイプ iOS版  
(NST-CAS-P5)を使用中!



高倉 己淑 氏 Sue Takakura

OFFICEキスク代表。「現場を知ったうえでの改善」を大切にする事務改善アドバイザー。企業の幅広い業務フローに対してコンサルティングを行っている。CamiApp Sはメモパッド(iOS版)を使用。コンサルティング時のメモツールとして使用している。

OFFICEキスクURL:  
<http://www.office-kisook.com/>

### 【CamiApp Sを購入した理由】 4工程が1工程に! ワンアクションでデータ管理

以前は議事録をノートパソコンでとって、終わったらすぐお客様にメールしていたのですが、目の前でノートパソコンを打ち込んでいると“何してるのかな? 自分の話聞いてくれてるのかな?” というお客様の不安感がひしひしと伝わってきて…。

これは手書きのほうがいいなと思い、ホワイトボードを持ち歩くようになりました。打合せ中、ボード上にお互い書きあったり、見せたりすることでお客様の話をきちんと受け止めていることが伝わりますよね。それに手書きだと図も描きやすいし、これを強く言いたいとか、そういう感情も表現できるので。

ただ、ホワイトボードに書いたものを記録としてお客様やチームメンバーに共有しようとすると、書いて、撮影して、タイトルをつけて、クラウドやメールへ送るという4工程をいちいちしなきゃいけない。めんどくさい! 何とかならないかなって思っていました。

そんなときCamiApp Sを見つけて、これだ! って。書いた後にノート「SAVEボックス」にチェックを記入するだけで、自動でタイトルをつけて、クラウドへ保存してくれる。ホワイトボードの4工程がCamiApp Sだと「書く」だけの1工程にできるんです。これは楽できるって思いました。ここが購入の決め手です。

### 【活用方法】 対面式の打合せにはCamiApp Sが一番です

勉強会やセミナーのメモにも使っていますが、俄然力を発揮するのは対面式のコンサルティングですね。パソコンとは違って、お客様の話を図に盛り込みながらまとめられて、書いた内容をお互いで確認できます。打合せ後は、書いた紙をお客様に渡して、データを自分に残しています。お客様は打合せメモをその場でもらえるので、わかりやすいですし、紙でもらう安心感もあるみたいです。なので、対面の打合せでは必ずCamiApp Sを使うようにしています。

データの管理は、アプリで設定(アクションマーカー設定(1))をしていて、書いてチェックするだけでDropbox、Googleドライブ、Googleカレンダー、スマホのアルバムに一気に保存できるようにしています。クラウドに保存していれば、パソコンや端末を買い換えても、クラウドにアクセスして確認できますし、複数の場所に保存しておくことで、データ損失のリスクも分散されます。

自分のメモとして書いた紙は、捨ててしまいます。整理整頓のために、もともと紙は溜めておきたくないんです。CamiApp Sだとスキャンも必要なくデータ化できていいです。

# Interview

about CamiApp S

